

わが子を良い子に

一、一生懸命になれる子

倉橋惣三

一生懸命になれる子。これ程たのもしない子はありませんね。その反対は、假りにどんなにりこうでも、おとなしくても、良い子とはいへませんね。そりやあ子どものことですから、おとなから見て、望ましいことばかりして呉れはしません。いたづらもする。わるさもするでせう。

それでも、一生懸命のところは、なんといつても貴いですね。庭の土いぢりで、夢中になつて遊んでゐる。着物もよこすし、顔中ざろんこにして、そこらあたりきなくする。が、その後ろ姿の、横顔の、なんと真剣なことでせう。それは、してゐることの善し悪しないふ前に、先づ、感心させられて仕舞ふ貴さです。わ

たし達、幼稚園の砂場で、いつもそういう貴い光景を見ます。そして、後から、そつと拜みたいやうな氣がします。

そういう時は、前へ廻つて、しげ／＼とのぞき込んだり、にこ／＼と笑ひかけたりしない方がいゝやうですね。そうすれば、子どもの折角の無我夢中を、こわすからね。

して仕舞ふことがあります。一心不亂、自分も忘れ人も忘れてゐるところなんですかね。

そういうふ子は、土いぢりや砂場でそうなるばかりではありませんね。いつでも本氣になれるのです。何物にも真剣にいろいろあります。一つは、水氣の少い物は飲物を添へます、(四)、含水炭素を含むものを主眼とし、無機質、ビタミンもある様に、(五)、果物、野菜、飴、甘酒、團子、麵類、餅、パン、センベイがよろしい。脂肪の多いものや肉、豆、卵、クリーム、スルメはいけません。此等は腹持ちがよくて、次の食事の妨げと

厚生科學研究所 佐々木理喜子
國民栄養部

お砂糖や小豆餡の過剰は、お子さん達の保健上に面白くない結果を産みました。が、今こそ其の原因がなくなりました。間食は大人には、無くともよろしいものですが、幼兒期から十歳位迄は必要です。子供はよく遊び、運動がはげしいので、三度の食事だけでは栄養が不足致します。消化器が充分に發育せず一度に澤山食べられませんから。間食の注意を次に述べます。

(一)、腹持ちのよいものは、次の食事の妨げになりますから避けます。

(二)、消化吸收がよく、容積があつて、直ぐに満腹するもの、

(三)、水氣の少い物は飲物を添へます、

(四)、含水炭素を含むものを主眼とし、

(五)、果物、野菜、飴、甘酒、團子、麵類、餅、パン、センベイがよろしい。

顔をしてゐる時だけではなく、にこ／＼と樂しげに、面白げに笑ひこける時にも、その眞剣さはあらはれます。

お正月の遊びでも、鞠つき、追羽子、

加留多、すごろく、なんでも一生懸命になれる子こそ貴いですね。どんなに上手でも、巧者でも、うはの空でしたり、ほかへ氣を散らしたり、一ぱいに氣を入れないではいけませんね。全心全力でこそ、ほんとうに面白いし、ほんとうに遊びもあるのです。遊びなんかといつてはいけません、一生懸命遊べない子は、学校へ行つても一生懸命勉強しますまいし、おとなになつても一生懸命仕事をしないでせう。

そこで、一生懸命になれるなれないは、多少性質にあり、又、體質にもあります。が、傍から仕向け方が大切です。第一、そばにあるおとなが、不眞面目だと一番いけません。不眞面目といふと言ひ過ぎますが、心に落ちつきの少ない、氣の移り易い、そくさとした態度であると、自然に、子どももそうなるやうで

す。第二に、あんまりふんだんに物を與へられて、一つのものに充分の興味をもつ間もないといった風のことは、至極く

よくありません。玩具をいろいろと與へ過ぎられたり、繪本を次から次へ與へ過ぎられたり、わざと氣を動かさせるよう

なものです。物もそうですが、傍から世話の焼き過ぎ、相手のし過ぎもいけません。人手の多い家の子が、氣のまどまらない子になつたりするのはそれです。自

分で一生懸命心を注ぎこもうとしてゐるところを、傍から、あつちこつちから手を出されたのでは、食ひ散らし、營め散らしのやうなことになつて仕舞ひます。

農村の子にくらべて、都會の子が、氣が多過ぎて眞剣でない傾きのあるのも、都會に、子どもの氣を動かす物が多く人が多いからでせう。第三に、進んで、そう

馬鈴薯と人參を蒸して潰し、砂糖を加えて餡を作れる。メリケン粉にベーキングパウダーや温め水を加へてこね、皮を作り、中に餡を包んで二十分位蒸す。蒸器の下に濡布巾を敷くこと。

【二】お饅頭
馬鈴薯四五瓦 人參一五瓦 砂糖五瓦 メリケン粉二五瓦 ベーキングパウダー少々、以上で一五三カロリー

【三】お餅
材料 お餅のクリームかけ
お餅四五瓦(一切) メリケン粉一〇瓦 みかん汁少々 みかん皮少々 砂糖五瓦以上で一五六カロリー

お餅を三つ位に切り焼く。メリケン粉を溶いて糊の様に作り、みかん汁と皮を卸金でつたものとまぜ、砂糖を加へてクリーム様にし、上からかける。

なり、又消化にも長く時間がかかりますから。

分量は五歳七歳は一五〇カロリー、三分のカロリーにします。

四歳は其の半量、果物でかさばる物は半